

## 小さな成長

明日から、中学生として最初の夏休みとなります。学年集会で話をしましたが、部活動や校外での活動、そして家族と過ごす時間に様々な体験をして欲しいものです。多くの体験は、机上の学習以上に大きな何かを得ることができるはずですが、色々な事にぜひ挑戦してみてください。

入学してまる3ヶ月を過ぎていますが、入学時に比べると成長を感じられることが見えるようになってきました。中間考査前の授業中には様々な物が、机上から床に落ちていきました。45分の授業でいったい何をしているのかと思うほど、物が落下して、こっちでカチャン、あっちでガッチャーン、そこでゴン！と音が鳴り止みませんでした。聞けば中学1年生の「アルアル」であるとのことでした。そんなことも、考査期間を経て5回以上の落下音が3回ぐらいに減ってきています。ずいぶんと授業中の机上がきれいになってきましたが、まだ使わない参考図書やファイルなどが置かれたままになっており、それらを片付けることなくその上にノートを置いたまま黒板を写す姿が見られます。また、休み時間に次の授業の準備をする姿も要領良くなってきています。チャイム後に慌てて準備していることもまだありますが、それでもその人数は減ってきました。これも小さな成長なのでしょう。夏休み明けには要不要を考え先を見通して準備をしたり、片付けができるようになることを期待しています。マイプランニングノートも当初の

「振り返り」から「計画を立てる」「学習の自己評価」と改訂してきています。夏休みは「計画」を立てる練習をする良い機会になると思います。自分の為すべきことを考え、計画を立て、実行できたのかを確認し、次の計画に活かすというサイクルを身につけて欲しいものです。



## 今を見つめる

学年集会で生徒に話をしたうちの一つですが、「現実を受け入れる」ということを学んで欲しいと思います。今、現在の自分の立ち位置を知るということは時に辛いことかもしれませんが、けれども今を見ずにいつまでも現実を受け入れないでいることは、次のステップを踏み出せないことになり、成長を止めてしまうこととなります。中高一貫6年は長く、まだまだ時間はあると思われがちですが、実際はあっという間に過ぎていってしまいます。生徒自身が現実を知り、受け入れるためには保護者の協力が絶対に必要です。どうか受け入れやすい環境作りにご協力ください。そして次のステージへと進めるように、手を引くのではなく、背中を押してあげてください。三者面談では進路に関するお話も出るかと思っています。ご家庭でぜひ希望、将来、夢などについてお話いただければと思います。